

#### (10)印旛放水路(下流部)・勝田川

改修断面は、法勾配 1:2 の土羽断面を基本とし、護岸は橋梁、堰等の構造物の付近など最小限にとどめるとともに、動植物の生息に配慮し自然素材を用い自然な水際になるようにします。

印旛放水路(下流部)途中の渓谷区間では兩岸に河畔林が茂り、良好な自然環境が創出されていることから、これらの改変を最小限にとどめるように配慮します。

印旛放水路(下流部)の下流区間は、川幅約 80m の河道として高水敷幅を約 16m 確保する計画となっており、市街化の進んでいる地域に残された貴重なオープンスペースとして、関係機関と調整を図りながら積極的な利用を図ります。

勝田川は、改修によって現在の川が大幅に拡幅される計画であり、高水敷も確保されていることから、法面をできるだけ緩傾斜とするように配慮し、水際にヨシ原の造成を行い、動植物の生息・生育に配慮した改修とします。

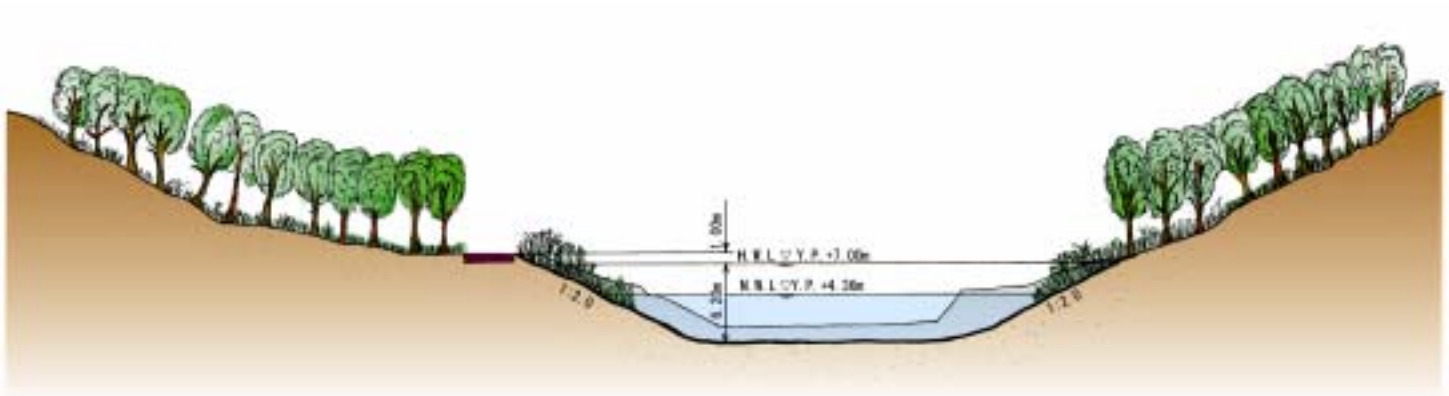
#### 印旛放水路(下流部)

- ・ 施行区間 新幕張橋～大和田排水機場
- ・ 延 長 L=10,400m
- ・ 整備内容 河道拡幅，築堤工，護岸工，堰，橋梁架換

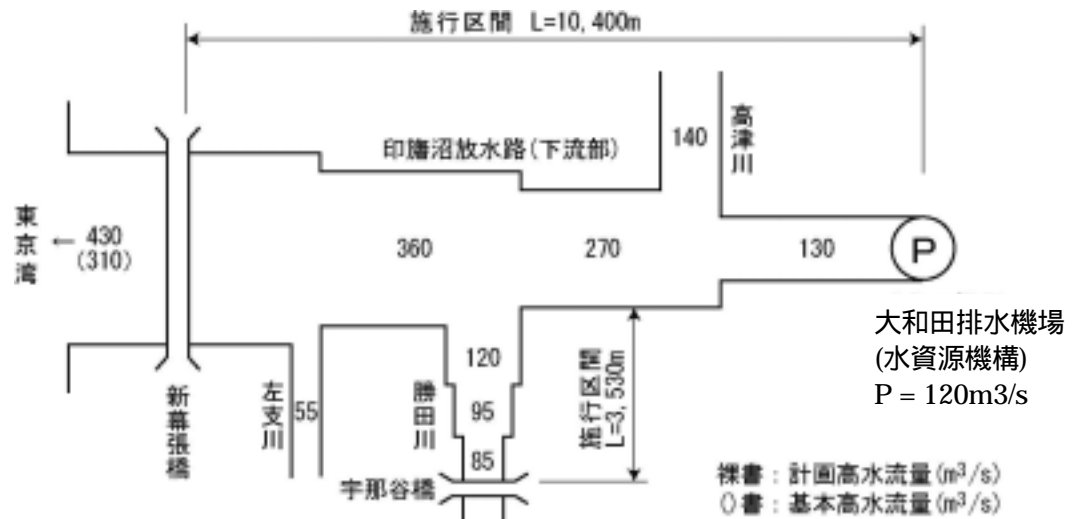
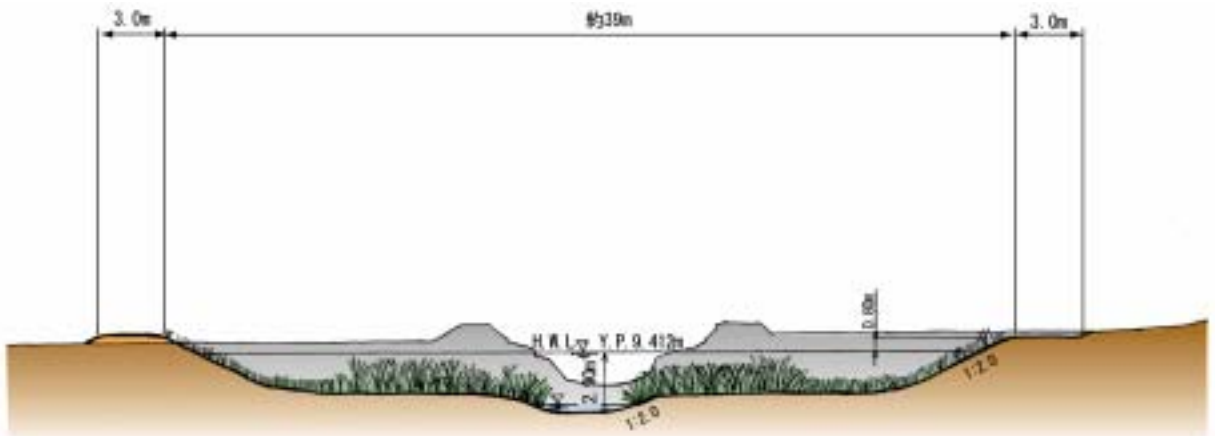
#### 勝田川

- ・ 施行区間 印旛放水路(下流部)合流点～宇那谷橋
- ・ 延 長 L=3,530m
- ・ 整備内容 河道拡幅，築堤工，護岸工，橋梁架換

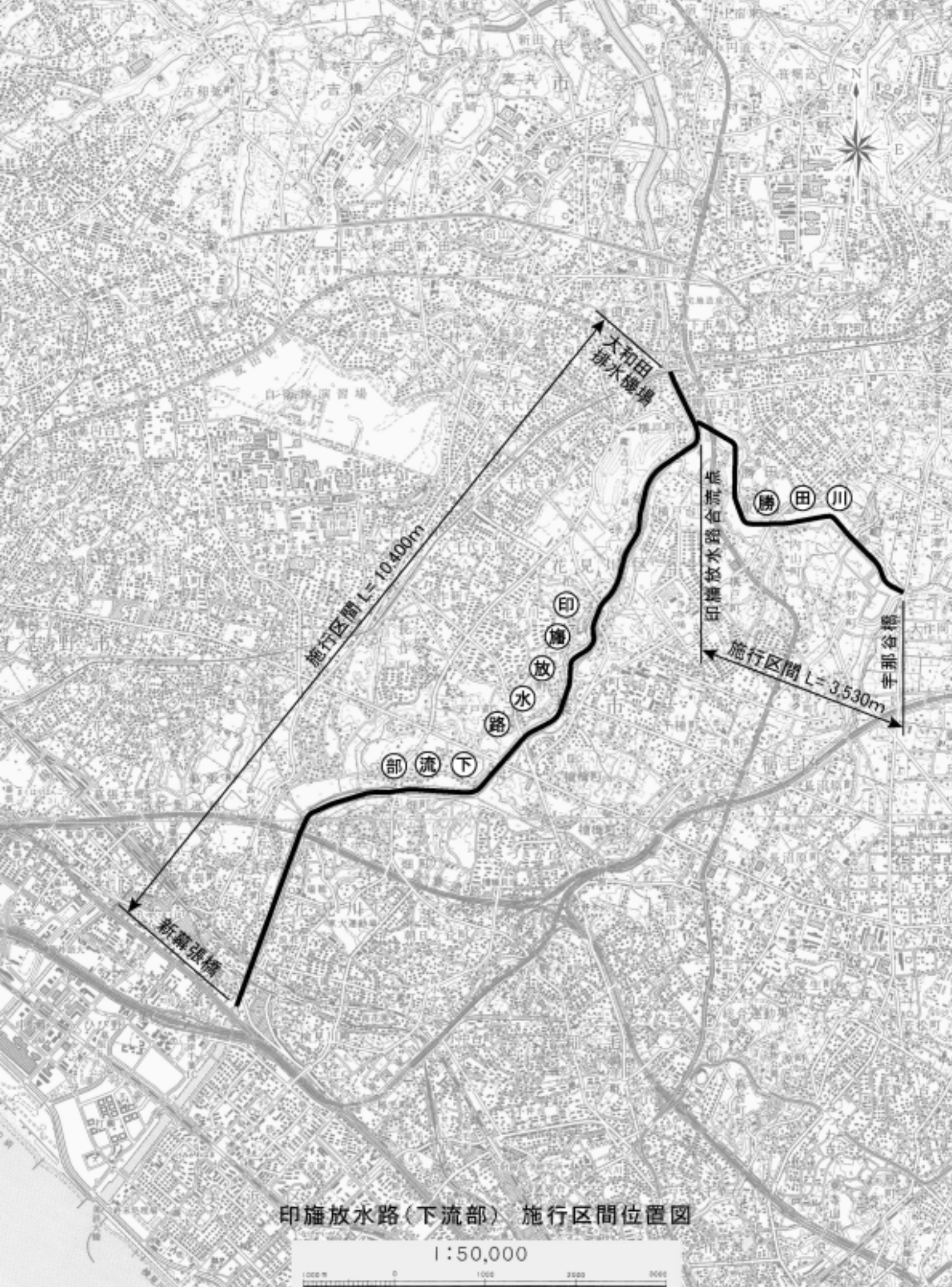
花島橋～勝田川合流点（印旛放水路）



4号橋梁～左支川A川合流点（勝田川）



流量配分図



印旛放水路(下流部) 施行区間位置図

1:50,000

## (11)十日川

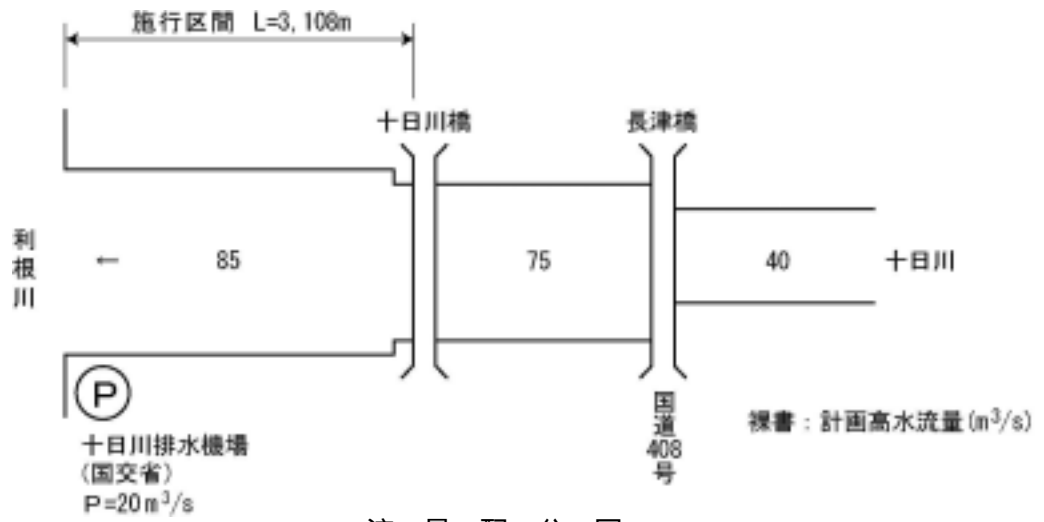
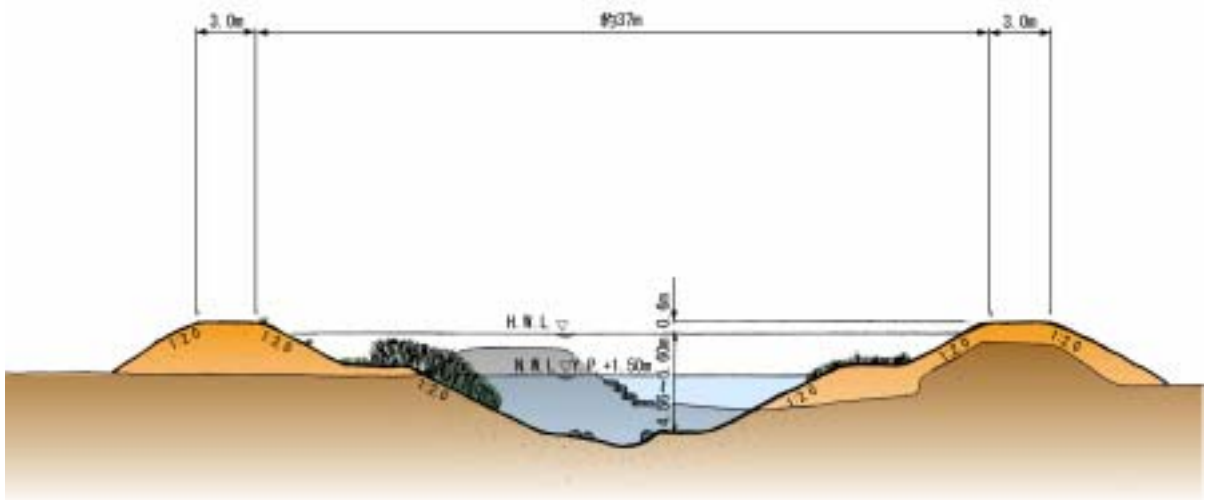
改修断面は、法勾配 1:2 の土羽断面を基本とし、護岸は橋梁、堰等の構造物の付近など最小限にとどめるとともに、動植物の生息に配慮し自然素材を用い自然な水際になるようにします。

十日川は、利根川からの背水のため、常に深い水深が保たれることから、安全面への配慮が必要です。よって、人が容易に水際に近づけないように水際にヨシ原を設け、生態系にも配慮します。ただし、休日ともなれば釣り人が訪れ、地域住民の憩いの場もなっていることから、全体でヨシ原を造成するのではなく、親水にも十分に配慮した改修を行うものとします。

### 十日川

- ・ 施行区間 利根川合流点～十日川橋
- ・ 延 長 L=3,108m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，河道拡幅

利根川合流点～十日川橋（十日川）



流量配分図

